

作成日：西暦 2025 年 3 月 28 日

西暦 2025 年 4 月 9 日修正

研究に関するホームページ上の情報公開文書

現在、千葉大学医学部附属病院感染症内科では、「千葉県における薬剤耐性菌の検出状況」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では千葉県の基幹病院から 2017 年 1 月～2026 年 3 月までの JANIS（厚生労働省院感染対策サーベイランス）データの提供を受け、薬剤耐性菌の検出状況の調査を行っており、国立がん研究センター東病院も協力しています。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

研究課題名

「千葉県臨床検査技師会による微生物学的サーベイランスにおける薬剤耐性菌動向の調査研究」

1. 研究の対象

2017 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日に当院において細菌培養検査を実施された方。

2. 研究目的・方法・研究期間

研究の目的

医療機関において検出される薬剤耐性菌の検出状況を観察、介入し、薬剤耐性菌の発生を抑止する方法を開発する。

研究の方法

JANIS データ（個人特定は不可能）を基に、千葉県内の医療機関で検出される薬剤耐性菌の検出動向を調べる。

研究の期間

研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる情報の種類

JANIS データに含まれる項目：医療機関コード/ID/性別/生年月日/入院外来/診療科/病棟/検査材料名/検体採取日/検体提出日（受付日）/培養結果/菌名/薬剤名/検査方法/仕切法/MIC/判定(SIR)/判定(+)/検体番号/バージョン情報

この研究のために新たに侵襲的な処置および検査を行うことはありません。

4. 外部への試料・情報の提供

千葉大学医学部附属病院への情報提供は、セキュリティ対策を施した上で行います。

具体的には、入力支援ソフトによる匿名化処理を施したデータを提供しますので、個人情報は特定できません。

5. 個人情報の取り扱いについて

本研究で扱う研究データは、医療機関名、個人情報が匿名化されておりますが、研究データは外部に洩れることのないよう厳格に管理いたします。

いように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは研究者にも匿名化されているため、一切公表しません。データ等は、千葉大学医学部附属病院感染制御部臨床研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。

6. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

7. 研究組織

研究代表者： 千葉大学医学部附属病院感染症内科 准教授 谷口 俊文

既存情報の提供のみを行う機関：国立がん研究センター東病院 感染症科長 冲中 敬二

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院

千葉県柏市柏の葉 6-5-1 電話 04-7133-1111 (代表)

感染症科長 冲中 敬二